

江野澤 よしかつ

# えのさわ吉克県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会 〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

# 中小稲作農家への補助を要望

## 2月県議会予算委員会 袖ヶ浦市特集

袖ヶ浦市選出で、県議2期目の江野澤吉克(えのさわ・よしかつ)議員は、千葉県の新年度当初予算案を審議する2月定例県議会の予算委員会に登壇し、地域の発展に向け農業問題、かずさアカデミアパークの見直し、アクアライオンと圏央道整備に伴う周辺の道路整備など、地域の諸課題を幅広く取り上げ、県の考え方をたどりました。

この中で、江野澤県議は、パーク構想の見直しは社会経済状況の変化から、やむを得ないとしながらも、構想を見直すからには、周辺地域全体の将来を見据えた新しい方向性を示すべきだと指摘するなど、地域の声をしっかりと県政に伝えました。予算委員会での江野澤県議の主な質疑を特集しました。



予算委員会で質問に立ち上がる江野澤委員

# 農業問題に真正面から取り組み

り組むためには、土地基盤の整備と合わせ、基幹となるライスセンターなどの共同利用施設の整備を図ることが重要です。

国は、補助対象となるライスセンターの利用規模を本年度から50ヘクタールに引き上げたところですが、本県では生産基盤や水利利用の面などから、事業導入が困難な地域も多く、対応に苦慮しているところです。

このため、県ではこうした地域の実情を踏まえた対応が可能となるよう、国に対して強く要望してまいります。

## 担い手育成に力を!

江野澤委員 県では、農業後継者を地域農業の担い手として、定着・育成していくためにどのような取り組みをしているのか。

農林水産部長 県では、地域農業を支える農業後継者を育成していくため(1)就農直後の定着を目的とした「農業経営体育成セミナー」

## ライスセンター整備

江野澤委員 農業県千葉の維持発展のためには、中小規模の稲作農家に対する支援が必要と考えますが、国の進める大規模農業への補助制度では、現場で実際に頑張っている中小規模の稲作農家が対応できない状況です。

中小規模の稲作農家が集団で利用する20〜30ヘクタール規模のライスセンターの整備に対する支援が必要と思うがどうか。

生産販売振興課長 意欲ある担い手が、将来にわたって安心して稲作経営に取

## ビニールの張替え

江野澤委員 施設園芸を進める中で、現場の要望として園芸用ハウスのビニールの張替えに対する補助金の

(2)青年農業者のさらなる経営管理能力の向上を目的とした「スキルアップ研修」

(3)企業の経営体への発展を目的とした法人化支援や経営改善支援など、段階に応じた支援を行っているところだ。

今後も、農業後継者をはじめ、担い手の定着や経営発展を支援してまいります。

## 後継者問題は、農業を考えるうえで避けて通れない問題です。もうかる農業でなければ後継者は生まれません。

例えば、米粉製品の製粉機などに対する補助な

ルム等の張替えについて、県では、長期展開可能な硬質フィルムを補助対象としています。消費的耐用年数の短いビニールは対象としていません。

なお近年、ビニールに代わる耐用年数の長い新しい被覆材が開発されてきたことから、導入状況等を踏まえながら補助対象の拡大について検討してまいります。

ど、製品に付加価値をつけていくことが大事だと思いますので、ぜひ検討をお願いしたい。

●県政と袖ヶ浦市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

えのさわ吉克 県議事務所

〒299-0236 袖ヶ浦市横田413-9  
TEL.0438-75-8881  
FAX.0438-75-8882

# 地域の将来を見据えて議論!

## かずさアカデミアパーク 10年後後目途に立地完了を目指す

### 2月県議会予算委員会



地域の発展に向け、諸課題を取り上げる江野澤県議

#### パーク構想の見直し

江野澤委員 かずさアカデミアパークについて、社会経済状況の変化を踏まえて、研究開発拠点の形成を目的とした現在の構想を見直すことは、必要だと理解します。しかし、構想を見直すからには、1期地区への立地を加速させるのはもちろんのこと、アカデミアパークを核とした周辺地域全体の将来を見据えた、新しい方向性を示す必要があります。そこで伺います。県は、かずさアカデミアパーク構想の見直しを行なっているが、今後、どのような方向

#### に進めていくのか。

商工労働部長 かずさアカデミアパーク及び周辺地域は、アクアラインの料金引き下げや圏央道の整備進展等により、企業立地の優位性が高まっています。このことから、今後は研究開発機能と生産機能を併せ持つ工場を中心に、新エネルギーや健康・医療など成長が見込まれる分野を含め、幅広い分野の誘致を推進するとともに、土地利用に係る規制の緩和などに取り組み、概ね10年を目途に立地完了を目指してまいります。

#### パークを含む地域全体の経済が一層活性化するように、地元市等と検討を進めてまいります。

また、パーク内外の企業連携やパーク周辺の土地等地域資源の活用により、パ

#### 賃借料引き下げへ

江野澤委員 平成22年12月議会の一般質問で、私が土地の買い取りについて質問したところ、県当局は「買い取りを含め、地権者と協議していきたく」と答弁しました。賃借地の賃料引き下げや買い取りによる将来の財政負担の軽減について、早期の決断が必要と思うかどうか。

企業立地課長 県では、調停制度も活用するなど、

#### 椎の森工業団地の整備決定

工業団地整備検討委員会を設け、工業団地の凍結解除の候補地選定を進めていた県は3月末、袖ヶ浦市椎の森工業団地の2、3期を新たに整備することを正式に決定しました。県は、平成14年度以降、景気低迷による需要の落ち込みなどから工業団地の新規整備を凍結してきましたが、その後、県内の工業団地の適地が少なくなってきたことや、東京湾アクア

イン及び圏央道の整備促進などによって、交通の利便性が飛躍的に向上してきたこともあって、工業団地の需給関係に変化がみられ、県企業立地課によれば、すでに引き合いもあるとして椎の森工業団地と茂原にはる工業団地の2カ所を新たに整備することを正式に決定したものです。

#### 高谷工区

江野澤委員 アクアライン接岸地周辺の袖ヶ浦市では、大型アウトレットの進出や駅海側の区画整理事業も始まり、環境の変化が著しい状況にあります。そんな中、周辺道路の整備は必要不可欠であり、早急な対応が求められます。県道千葉鴨川線高谷工区の進捗状況と、平成24年度の予定は

## アクア周辺道路の整備不可欠

どうか。道路整備課長 高谷工区については、延長4.6キロのうち、これまでに3キロを供用したところで、残る1.6キロ区間の平成23年度末の進捗率は、事業費ベースで30%、用地は面積ベースで99%となる見込みです。現在、文化財調査や松川に架かる橋梁の下部工工事を行なっており、平成24年度は残る用地取得に努めるとともに、橋梁の取り付け部100メートル区間で切り土工事を行なう予定です。

#### 高須箕和田線

江野澤委員 高須箕和田線の事業化の見直しと24年度の進め方はどうか。県土整備部長 高須箕和田線は、袖ヶ浦市街地と袖ヶ浦駅海側とを、地区区画整理事業区域とを、JR内房線をアンダーパスしてつなぐ、袖ヶ浦市の発展に大きく寄与する都市計画道路です。平成24年度から事業着手する予定で、地元市など関係機関と連携を図りながら

#### 永吉歩道整備

江野澤委員 県道南総昭和線袖ヶ浦市永吉地先の歩道整備の進捗状況はどうか。道路環境課長 同線の永吉地先の歩道整備については、これまで境界未確定により延長80メートル区間が未整備になっていました。このたび、境界が確定し、整備の見直しが行われたことから、今年度、路線測量を実施してまいります。24年度は、設計と工事を実施し、早期完成に努めてまいります。



県道長浦上総線野田改良区工事の進捗状況を千葉県と袖ヶ浦市の職員と視察する江野澤県議